

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 21年 3月 12日	
事業所名	街かどケアホーム ゆうか	
ユニット名	2Fユニット	
事業所番号	23704007542	
記入者名	職名 統括ユニット責任者	氏名 世古 幹人
連絡先電話番号	052-505-5550	

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>法人理念を目に付きやすいように玄関や事務所に掲示しており、職員は毎日それを見てから業務にあたる。理念研修・全体会議において常に理念に基づいた行動なのかを確認しあっている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には、契約時に説明させて頂き、理解を得ている。また、地域の方々へは、運営推進会議において法人理念を伝えておりご理解を頂けるよう努力している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日中、玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるようにしている。1階のスペースには、アイスクリーム機と図書コーナーを設置し自由に利用できるようにしている。また、町内会の会合等で利用して頂けるように1階のコミュニティールームを一般開放している。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域への活動として、祭やイベントを開催し、地域の方々に参加して頂いている。また、自治会主催の祭にも積極的に参加している。近隣の小学生の社会見学も受け入れている。今年度は町内会の組長に指名されつとめることになっている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		<p>地域に向けて、何か出来る事をと考え、公園の清掃などをボランティアで行えるように市に申請中である。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>運営推進会議などの出席も積極的に参加していただけるよう働きかけたい</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>日常の勉強会の中で、権利擁護制度についての理解を深めていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	全職員が馴染みの関係でいられるよう時間をかけて関わりを持っている。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修はもちろん、法人が設けた研修にも参加できるようにしている。また、現任職員に対しての勉強会もおこなっている。個人のスキルアップを目的とした試験制度が法人全体として行われている。		長期・短期の計画をたて、職員の得意分野を存分に発揮できるような研修を行って行きたい。また、職員が気兼ねなく、外部研修に参加できるようにしていきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管各グループホームの管理者や職員が参加する、認知症勉強会に参加し、同業者との交流を行っている。		現在は管理者のみが代表で参加している形をとっているが、今後は全職員が参加できるようにしていきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体での交流会に参加している。事業所単位では、忘年会・新年会はもちろん、懇親会やボーリング大会等を行いストレス軽減に努めている。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員のスキルアップの為に法人内に試験制度があり、スキル向上と昇給・昇格が連動し、個人の頑張りや評価できる体制がある。また人事考課は個人の目標を自分で決めて、自分で評価が出来る仕組みになっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談の段階から、同じ職員が関わり、顔なじみな関係を築き安心して頂けるように対応させて頂いている。コミュニケーションを取りながら信頼関係を築いている。また、入居に不安のある方に体験入居という方法も行っている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>問い合わせがあった段階から入居に至るまでは、何度もご本人、ご家族のもとへ足を運び、直接話を聞いている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた場合は満室であってもお断りはせず、状況を聞いた上で必要な支援についての助言を行っている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご利用者の状況に合わせて家から通ったり体験入居をしたりなどの対応をしながら徐々に馴染んでいけるように支援している。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はご利用者から教えて頂くという気持ちを常に忘れず、日々向き合っている。外出や食事の後片付け等、ご一緒させて頂く中でさまざまなことを学ばせて頂き、信頼関係を築いている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時や電話連絡を行う際に思いや要望を伺っている。ご家族の来訪時間も特に設けず、いつでも来訪して頂けるようにしている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族との外泊・外出を自由にして頂いている。ご家族の来訪時も特に設けず、いつでも来訪して頂けるようにしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人やご家族から今迄の生活暦を伺い、行きつけにしている喫茶店や床屋、美容院等に行けるよう支援させて頂いている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者同士が一緒に過せる場所を作り、ご利用者の関係を良好に築いていけるように支援している。ご利用者数人で外出をしたりもしている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も年賀状やイベントの案内を送付している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者一人一人に確認している。またご家族にも今迄にしていたことや好きだったこと等、伺いケアプランに反映させている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前には必ず生活歴などの情報を本人、ご家族よりお聞きしている。また利用後もアセスメントとして趣味や嗜好、ニーズの把握に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>1日の様子がわかるように介護記録を毎日記入している。また、介護記録を出勤時に読み、ADL・心身状態など把握を全職員が行っている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向・思い・希望とご家族の思いに基づいた介護計画を作成している。また、アセスメントについて新たな情報を得た時は、その都度記入するようにしている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画を見直す際は、必ずモニタリングをしている。また、ご利用者の変化に合わせて行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の様子を介護記録に記録している。介護計画に沿った記録を書く為に書式を変更し、より見直ししやすいように工夫している。</p>		<p>日常のケース記録を介護計画に基づいて記入出来るように勉強会や書式の変更などをしていきたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人やご家族の要望に応じて、馴染みの病院の継続や外泊等、支援している。また、ご家族の要望で本人・ご家族・職員で外出することもある。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>運営推進会議に近隣住民・学校関係者・協力医院の看護師等に参加して頂き、情報・意見交換をしている。また、訪問歯科の方に来て頂き、歯磨きの必要性など説明して頂いている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ご本人・ご家族と相談しながら状況に合わせて福祉用具を活用などを行っている。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>必要に応じ相談しながら、権利擁護を利用して頂いている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望の応じて、かかりつけの病院を継続して頂いている。また、かかりつけ医にその都度状況を報告している。		受診が困難な方に対して、協力医院と相談しながら往診して頂けるように相談していく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医院が事業所開設から変更が無く、長く付き合いをさせて頂いている。ご利用者の状態の変化に応じてその都度相談している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	運営推進会議にも協力医院の看護師が出席して頂いていることもあり、協力医院の看護師を連絡がとれる状態になっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時、出来る限り毎日お見舞いに伺っている。医師・看護師と情報交換をして早期の退院に向けて連携している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人の意向を第一として生活して頂いている。又、ご家族の思いや意向も伺い、ご家族には今後予想される状態をお伝えし、思いや意向を伺っている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人の意向を第一として生活して頂いている。又、ご家族の思いや意向も伺い、ご本人・ご家族・医師と相談しながら今後の対応を決めている。		協力医院と相談しながらターミナルケアについての考え方や知識を深める勉強会を増やして行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>接遇・マナー研修を行い、言葉遣いについて気をつけている。また記録等の個人情報の取り扱いについては、書庫に保管し、施錠して保管している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人の思いを否定せず、聴かせて頂いている。また、職員からの押し付けにならないような声かけを行っている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員・事業所の都合ではなく、個人のペースに合わせて生活して頂いている。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>昔から行きつけている美容院や気に入っている理髪店への送迎を行っている。また衣類を購入する場合でもご本人と一緒に掛かけ、お好みの物を選んで頂いている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	カロリーや健康に気にされている方に対して、カロリーを考えた食事を提供している。また、ご利用者と一緒に食事を行っている。		宅配以外でご本人の好きな物をご用意する日を事前に設け、提供していきたい。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者一人一人の趣味や嗜好を職員全員が理解し、それを介護計画に反映させている。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録表にて観察し、排泄パターンを把握し、声かけ・誘導をしている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を職員の都合で決めず、アセスメントを基にして、入浴を楽しんで頂いている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜眠れない方に対して無理に寝て頂くのではなく、一緒に過したり、不安などないように対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌のCDを聴いて口ずさまれたり、映画やカラオケ・喫茶店などご本人の希望に応じて支援している。また、職員からのサプライズとして誕生日にお祝いをしたりと楽しんでいただけるよう支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者の方に合わせ、お金を自己管理される方、こちらで預かせて頂く方と相談した上で決めている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自宅へ行かれる方、散歩に行かれる方、ドライブ、喫茶店等ご希望に応じて同行させて頂いている。また、お一人で行かれる方に対して見守りをしている。		お一人では外出できない方、遠慮して言えない方、自由に身体が動かせない方に対しても外出して頂けるよう、職員から声をかけていきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご本人・ご家族・職員と共になばなの里や食事会へ外出する機会があった。また、イベントの企画で外出をしたこともあり、喜んで頂いている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日頃より、施設に電話を自由に使って頂いている。職員の前では話したいことも話せない場合なども想定し、居室でも電話して頂けるようにしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に制限は設けていない。日頃より、いつでも来て下さいと伝えている。玄関に施錠はされていなく誰でも気軽に立ち寄る事が出来るようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入社時より、職員には「施設側がタイムスケジュールを作ることも抑制である」と指導している。「自分がされたら嫌なことは決して他人にはしない」という理念を徹底している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や居室、窓と施設内の全てにおいて職員の都合で施錠をする場面はない。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用者の生活のペースを把握し、職員は申し送りにて現在誰が何をしているのかを確認しあっている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険だから無くすのではなく、どうすれば安全に使えるのか、わかりやすく出来るのかを考えている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急対策マニュアルを作り、勉強会などで緊急時の対応を学んでいる。また、そうならないようにユニット会議を開き、事故防止に取り組んでいる。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルを作成し、職員に伝えている。		定期的な勉強会の開催と継続を行っていきたい。また、新人職員も含め、全員が消防署の救命講習を受ける。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定められている消防訓練を実施している。また、緊急避難場所についても指導している。		定められている消防訓練以外でも勉強会を行い、火災や災害に備える。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態に変化があった場合、介護計画を基にご家族と話し合い、リスクに対しての対応について説明し、理解を得てから、サービス提供させて頂いている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間での引き継ぎはもちろん、協力医院への報告と相談を行っている。状況に応じて医師から指示を頂いている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は説明書をファイル作用や副作用について全職員が閲覧するようにしている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事や水分など、ご自分で摂取できない方やご自分から摂取しようと居ない方に対して、声かけや必要に応じて介助を行い、摂取して頂いている。また、医師へ報告し、服薬でコントロールしている方もいる。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアに対する勉強会やセミナーを開催し意識の向上につとめている。また職員がさせて頂く方に関してはチェック表を作成し口腔ケアを実践している。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	状況把握の必要な方は、確認表を個別で作成し、記録している。また、ご自分から摂取されない方には、摂取できるようにすすめている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種をして頂いたり、外出から戻られた時には手洗いをして頂けるように声を掛けている。また、ノロウイルス対策として、食器の消毒つけおきをしている。		疥癬・肝炎・MRSA等について、予防策や対応についての勉強会をしていきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具・食器の消毒を実施している。食材については、食材が届いてからすぐに冷蔵庫へ保管している。また、体調の悪い職員は調理をしないようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関横にガーデンを作り、来訪者やご利用者に対して好感を持って頂けるようにしている。また、玄関には、職員の顔写真を貼り観て頂けるようにしている。		季節に合わせたガーデン作りをしていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地良く生活して頂く為にリビングのレイアウトをニーズに合わせて、その都度変更している。		季節感を感じられる空間を作って行きたい
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者の動線に配慮し、またソファやテーブルの配置を考え気の合うご利用者同士で座れるようにしている。また、音楽も聴ける空間を確保している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた家具を持参して頂き、落ち着 ける空間が出来ている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	常に温度には気を配り、換気もおこなっている。 また、冬場は加湿器も設置し体調変化に気を配っ ている。		
また				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	居室からの移動で歩く場所に障害物がないよ うにしている。手すりも高齢者の平均身長を考慮して 作られている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	わからないことに対して否定せず、紺らさせない ようにしている。また、場所がわからない方に対 して、「トイレ」等、貼り紙をつけ、ご本人でも わかるような工夫をしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	玄関に花や苗木を植えたりして、鑑賞されること がる。裏には畑もあり菜園を作っている。		裏庭にある畑をご利用者と共に育てていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

全てのご利用者が、「自分らしい生活」送って頂く為に職員は常にその方の意思を尊重し、尊敬と敬意の念を持ちながら、お一人お一人に関わらせて頂いております。完全個別ケアを特色とし、「買い物へ行きたい」「散歩へ行きたい」「温泉へ行きたい」「喫茶店でコーヒーを飲みたい」等、その方がされたいことへの実現と満足をして頂くことをモットーに日々生活を共にさせて頂いております。ホスピタリティの精神のもと、心のこもった、「おもてなし」と「言葉にされないニーズ」にもお応えをしていきます。